



# 環境経営レポート

～無限の可能性を秘めた子供達の為に  
今私たちが出来る事～

2023年度

睦特殊金属工業株式会社 焼結事業部

運用期間 (22年10月～23年09月)

発行日 2023.12.14



# 目次

1. 会社概要・沿革
2. 環境管理組織
3. 環境経営方針 基本理念
4. 焼結事業部CO2年間排出量
- 5-1. 環境目標（東京工場）
- 5-2. 環境目標（秋田工場）
- 5-3. 環境目標（山形工場）
- 5-4. 環境目標（山形第二工場）
- 5-5. 環境目標（本社）
6. 主要な環境活動計画（東京工場 秋田工場 山形工場 山形第二 本社）
- 7-1. 環境目標とその実績（東京工場）
- 7-2. 環境目標とその実績（秋田工場）
- 7-3. 環境目標とその実績（山形工場）
- 7-4. 環境目標とその実績（山形第二工場）
- 7-5. 環境目標とその実績（本社）
- 8-1. 環境活動の取り組み結果と評価（東京工場）
- 8-2. 環境活動の取り組み結果と評価（秋田工場）
- 8-3. 環境活動の取り組み結果と評価（山形工場）
- 8-4. 環境活動の取り組み結果と評価（山形第二工場）
- 8-5. 環境活動の取り組み結果と評価（本社）
9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- 10-1. 代表者による全体評価と見直し結果（東京工場）
- 10-2. 代表者による全体評価と見直し結果（秋田工場）
- 10-3. 代表者による全体評価と見直し結果（山形工場）
- 10-4. 代表者による全体評価と見直し結果（山形第二工場）
- 10-5. 代表者による全体評価と見直し結果（本社）



# 1.会社概要

## (1) EA21認証・登録事業者名

睦特殊金属工業株式会社  
焼結事業部東京工場  
焼結事業部秋田工場  
焼結事業部山形工場  
焼結事業部山形第二工場

## (2) 本社所在地

東京都世田谷区玉川2-16-6  
睦ビル二子玉川 4F

## (3) 代表者名

代表取締役社長 羽田 鋭治

## (4) 事業内容

焼結機械部品・含油軸受等の製造

## (5) 事業の規模

年間売上：12億3900万円(全社：24億7781万円)  
従業員数：104名(全社：240名樹脂事業部含む)

## (6) 環境管理責任者

管理本部 山根 裕也  
連絡先 TEL:03-5717-6230  
FAX:03-5717-1623  
メールアドレス：  
y-yamane@mutsumi-t.co.jp

## (7) EA21認証・登録対象外

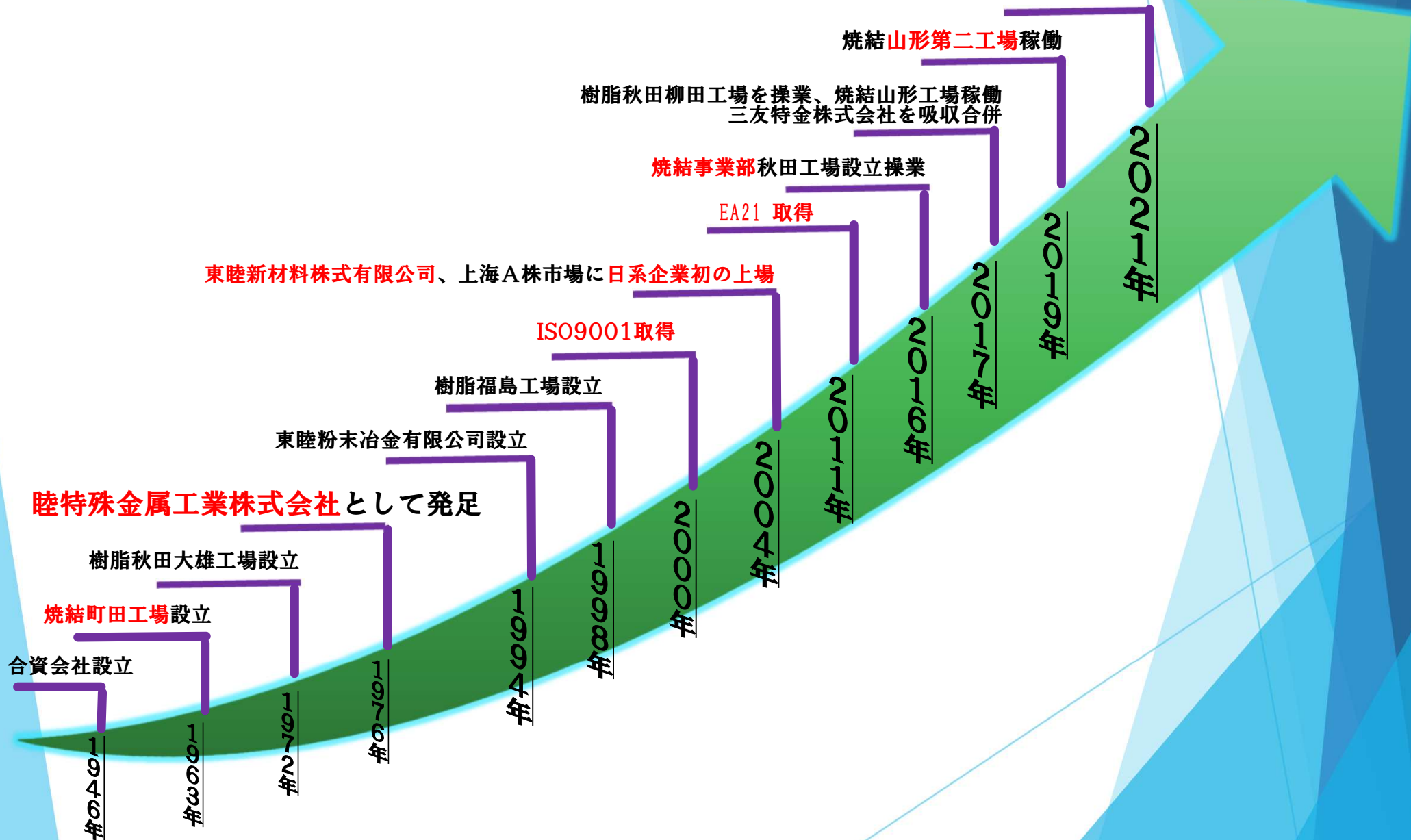
- \*樹脂事業部 大雄工場(ISO14001)
- \*樹脂事業部 柳田工場(ISO14001)
- 樹脂事業部 福島工場  
(2025年 EA21 取得予定)
- \*他のEMSの認証取得済み



# 沿革

睦特殊金属工業、創業77年の歩み

睦特殊金属工業株式会社本社移転  
(町田→二子玉川)





# 2.環境管理組織

2023年10月現在  
 東京工場 32名  
 秋田工場 26名  
 山形工場 9名  
 山形第二工場 22名  
 本社 15名

経営層	
代表取締役社長 池田行廣	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の決定と環境マネジメントシステムの見直し</li> <li>・課題とチャンスの明確化</li> </ul>	

環境管理責任者	
山根裕也	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全活動の推進</li> <li>・環境改善計画立案</li> <li>・環境保全活動のしくみ作り</li> <li>・計画に伴う各部署への指示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の実績管理</li> <li>・環境データの集計</li> <li>・環境MS会議の主催</li> <li>・経営層への進捗報告</li> </ul>

環境マネジメントシステム EMS					
担当責任者					
	東京工場	秋田工場	山形工場	山形第二	
電気使用量削減	羽田鋭治	柿崎信人	菊地勝毅	菊地勝毅	
廃棄物排出量削減	白藤和彦	渡邊誠	渋谷孝	高木鋭一	
水使用量削減	森田健	今野寿人	高橋徹	高木鋭一	
グリーン購入	服田真紀子	山根裕也	遠田文	遠田文	
化石燃料削減	白藤和彦	山根裕也	菊地勝毅	菊地勝毅	

化学物質管理システム CMS					
担当責任者					
	東京工場	秋田工場	山形工場	山形第二	
責任者	羽田鋭治	富安健太	加藤俊也	加藤俊也	
副責任者	藤田あゆみ	柴田侑斗	佐藤隆宏	佐藤隆宏	

環境保全担当者									
	東京工場		秋田工場		山形工場		山形第二工場		
工場長	羽田鋭治	工場長	山根裕也	工場長	菊地勝毅	工場長	菊地勝毅	・環境保全活動の実施	
製造課主任	森田健	品質課課長	富安健太	製造課主任	高橋徹	品質課主任	加藤俊也	・問題点の把握と解決	
本社総務経理	白藤和彦	製造課課長	渡邊誠	製造課主任	渋谷孝	製造課主任	高木鋭一	・社員教育	
本社総務経理	服田真紀子	製造課主任	柿崎信人					・環境MS会議に出席	
品質保証課	藤田あゆみ	技術課主任	齋藤龍太郎						
		製造課	今野寿人						



## 基本理念

私たちは、粉末冶金製品の生産を中心にした事業活動において、環境に配慮した生産活動を推進する事により、社会に貢献する事を目指します。

そして、環境保全への取り組みを経営の重要な柱の一つとして捉え、社会の調和ある発展に貢献出来るように、不断の努力を行います。

1. 環境及び有害化学物質に関わるあらゆる法則制、ユーザー及びその他の要求事項を遵守する。
2. 事業活動の全ての分野で、省エネルギー・省資源及び廃棄物発生への低減に努め、且つそれらのリサイクル化を推進する。
3. 事業活動において、製品（購入品含む）・原材料及び副資材の有害化学物質を的確に把握し、それらの保管・使用・廃棄等を適切に行い、且つそれらの使用量の削減、安全性の高い物質への切替えに努める。
4. 事業活動において、環境汚染の予防に努める。
5. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境目的及び環境目標を設定し、継続的な改善に努める。
6. 環境教育を通じて、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、自ら責任を持って環境保全活動を遂行できるよう、啓発と支援を行う。

改定日：2019年10月1日

制定日：2012年10月1日

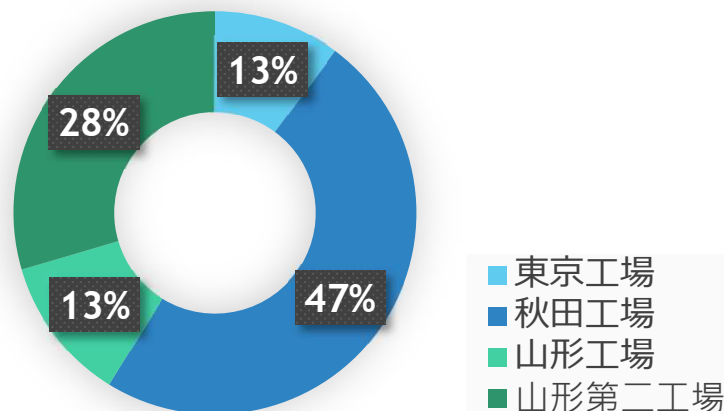
羽田 鋭治



## 4. 焼結事業部 年間CO2排出量

	2021年		2022年		2023年	
	CO2排出量 (kg-CO2)	比率 %	CO2排出量 (kg-CO2)	比率 %	CO2排出量 (kg-CO2)	比率 %
焼結事業部合計	1,437,530	100%	1,425,141	100%	1,352,829	100%
東京工場	149,298	10%	144,979	10%	179,236	13%
秋田工場	770,215	54%	692,840	49%	626,862	47%
山形工場	116,872	8%	166,327	12%	164,062	12%
山形第二工場	401,145	28%	420,995	29%	382,669	28%

### CO2排出量



当社が生産する  
製品1g当たり  
0.0049kg-CO2



# 5-1 2023年度環境目標 (東京工場)



電気使用量削減

4%削減

(2017年基準比)

262,899kWh以下/年

《CO2排出量》

121,196kg-CO2以下



廃棄物排出量削減

3%削減

(2022年基準比)

15.41ton以下

2022年基準値：15.89t



水使用量削減

5%削減

(2017年基準比)

513m<sup>3</sup>以下

2017年基準値：540m<sup>3</sup>

## 環境目標(中期目標)

	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2023年度	4%削減	3%削減	5%削減
2024年度	5%削減	4%削減	6%削減
2025年度	6%削減	5%削減	7%削減





# 5-2 2023年度環境目標 (秋田工場)



生産電気使用量削減

6%削減

(売上比)

4,416kWh以下/

売上百万円

《CO2排出量》



電気使用量削減

6%削減

(2017年基準比)

1,506,474kWh以下

《CO2排出量》

786,379kg-CO2以下



廃棄物排出量削減

3%削減

(売上比)

19.4KG以下/

売上百万円



水使用量削減

4%削減

(売上比)

2.30m3以下/

売上百万円

## 環境目標(中期目標)

	生産電気削減	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2023年度	6%削減	6%削減	3%削減	4%削減
2024年度	7%削減	7%削減	4%削減	5%削減
2025年度	8%削減	8%削減	5%削減	6%削減

(注記) LPG燃料を使用しているが、生産量比例のため目標を設定していない



## 5-3 2023年度環境目標（山形工場）



電気使用量削減

3%削減

(2019年基準比)

362,503kWh以下/年

《CO2排出量》

189,226kg-CO2以下



廃棄物排出量削減

3%削減

(2019年基準比)

9.7on以下

2019年基準値：10t



水使用量削減

3%削減

(2019年基準比)

970m<sup>3</sup>以下

2019年基準値：1,000m<sup>3</sup>

### 環境目標(中期目標)

	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2023年度	3%削減	3%削減	3%削減
2024年度	4%削減	4%削減	4%削減
2025年度	5%削減	5%削減	5%削減

(注記) LPG燃料を使用しているが、生産量比例のため目標を設定していない



## 5-4 2023年度環境目標（山形第二工場）



電気使用量削減

3%削減

(2019年基準比)

683,142kWh以下/年

《CO2排出量》

356,600kg-CO2以下



廃棄物排出量削減

3%削減

(2019年基準比)

9.7ton以下

2019年基準値：10.0t



水使用量削減

3%削減

(2019年基準比)

776m<sup>3</sup>以下

2019年基準値：800m<sup>3</sup>

### 環境目標(中期目標)

	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2023年度	3%削減	3%削減	3%削減
2024年度	4%削減	4%削減	4%削減
2025年度	5%削減	5%削減	5%削減

(注記) LPG燃料を使用しているが、生産量比例のため目標を設定していない



## 5-5 2023年度環境目標（本社）



電気使用量削減

1%削減

(2021年基準比)

17,820kWh以下/年

《CO2排出量》

8,055kg-CO2以下



CO2排出量削減

1%削減

(2021年基準比)

1,485,000kg-CO2以下

2021年基準値：10.0t

### 環境目標(中期目標)

	電気使用量削減	CO2排出量削減
2023年度	1%削減	1%削減
2024年度	2%削減	2%削減
2025年度	3%削減	3%削減

(注記) LPG燃料を使用しているが、生産量比例のため目標を設定していない



## 6. 主な環境活動計画 2022年10月～2023年9月末

### 生産電気使用量

東京工場責任者 羽田鋭治

秋田工場責任者 柿崎信人

山形工場責任者 菊地勝毅

山形第二工場責任者 菊地勝毅

- ・①生産設備の効率稼働（生産向上）
- ・②省エネ機械・設備の導入及び省エネ方策
- ・③照明、空調設備の省エネ方策
- ・④不要時の消灯運動（就業時、休憩、就業後の消灯徹底）
- ・⑤空調温度の適正管理（暑すぎ、寒すぎ温度排除）
- ・⑥業務改善（効率化）による残業時間の減少

### 廃棄物排出量

東京工場責任者 白藤和彦

秋田工場責任者 渡邊誠

山形工場責任者 渋谷勉

山形第二工場責任者 佐藤夏樹

- ・①分別回収の細分化⇒リサイクル切替
- ・②廃棄鉄粉の削除⇒こぼれ粉など
- ・③ダンボール箱⇒  
・キャディ、マテハンの利用、包装資材の再利用
- ・④紙の使用量削減  
・（電子文書化、使用済コピー紙の裏面使用など）
- ・⑤エコ商品の購入（事務用品）

### 水使用量

東京工場責任者 森田健

秋田工場責任者 今野寿人

山形工場責任者 渋谷勉

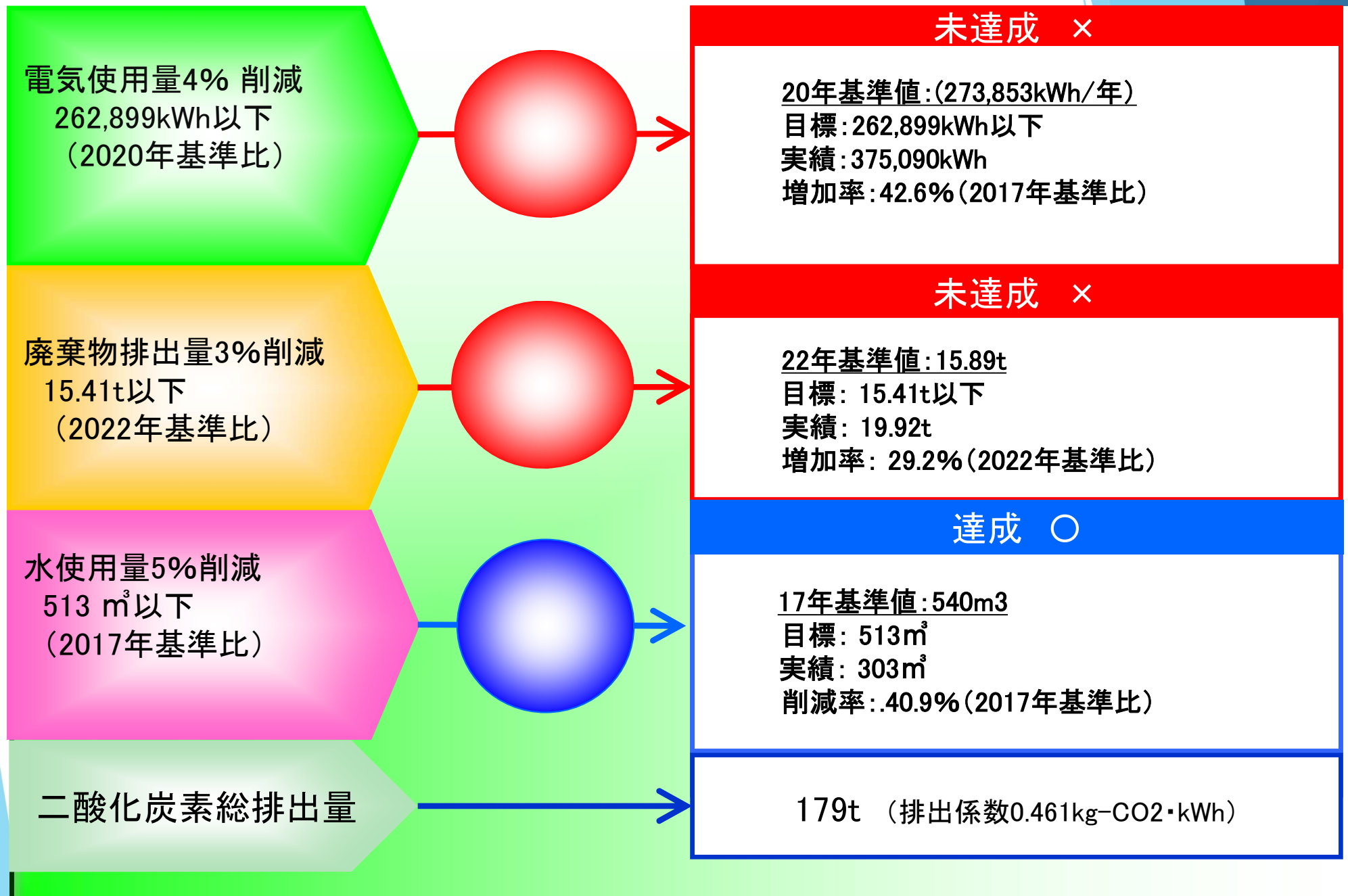
山形第二工場責任者 佐藤隆宏

- ・①節水の表示、水の出しっぱなしの禁止
- ・②水の水量調整
- ・③定期的に指針チェック⇒水の使用量の把握(毎日) /漏水確認
- ・④節水の呼びかけ

節水



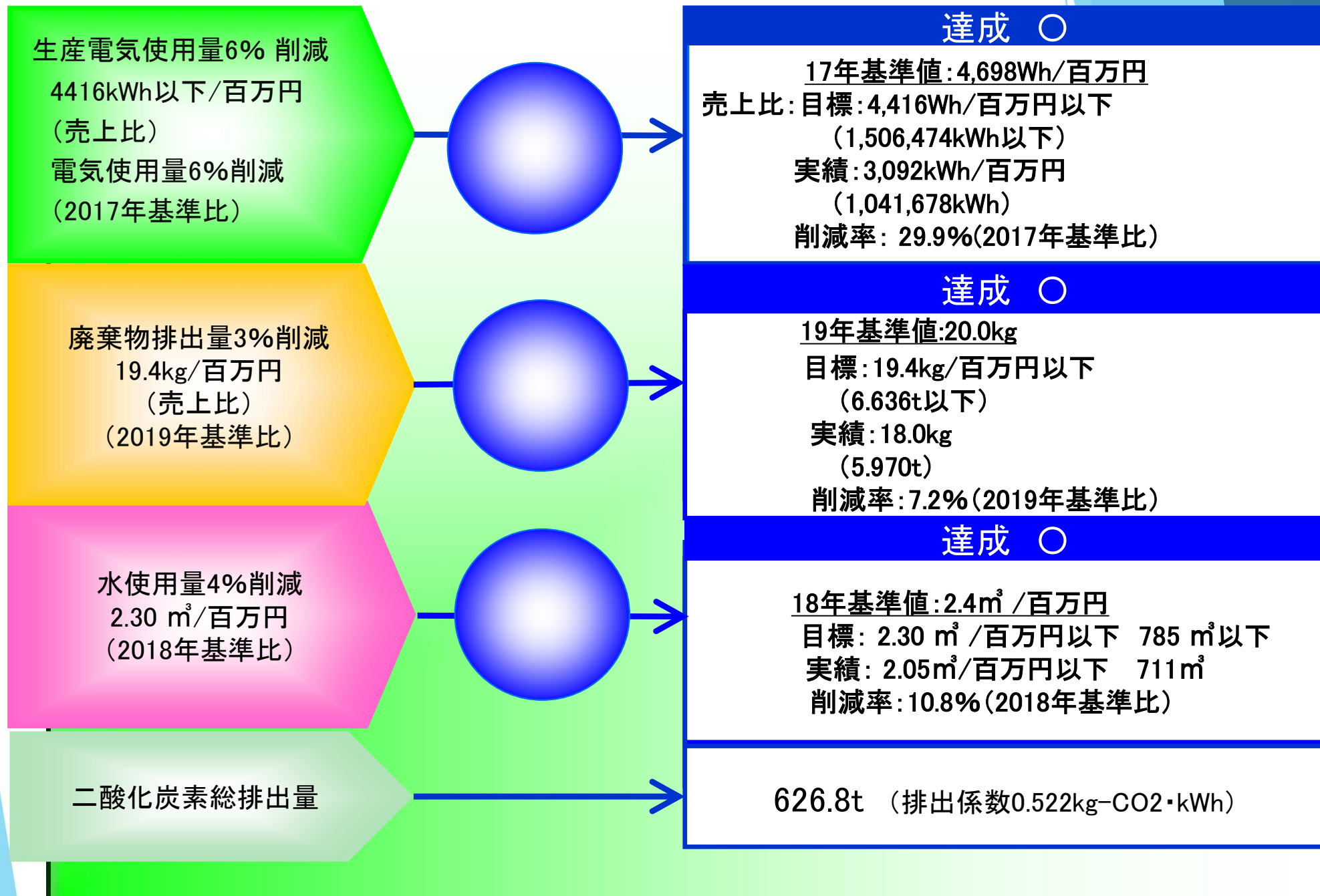
# 7-1. 環境目標とその実績（東京工場）





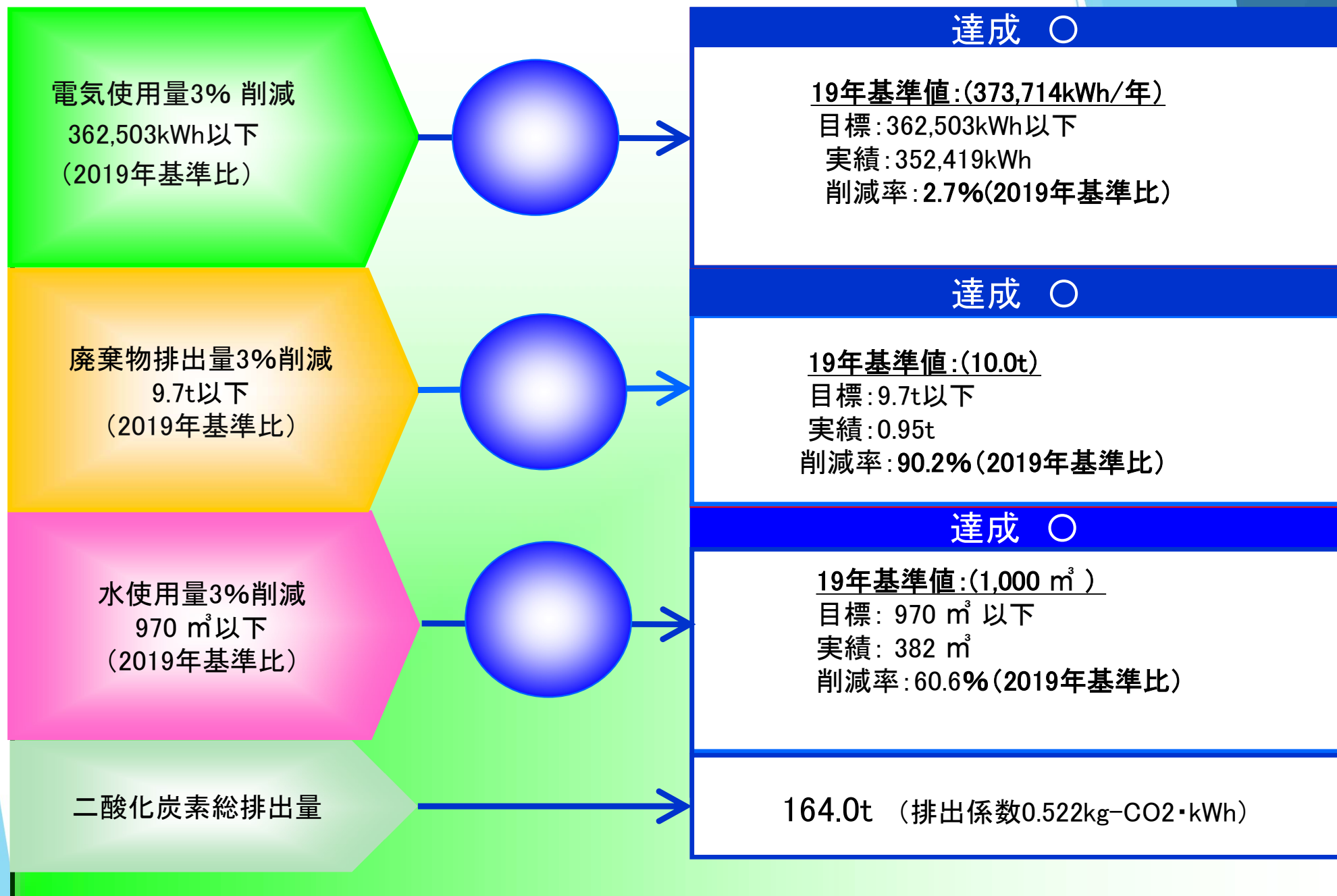


## 7-2.環境目標とその実績(秋田工場)



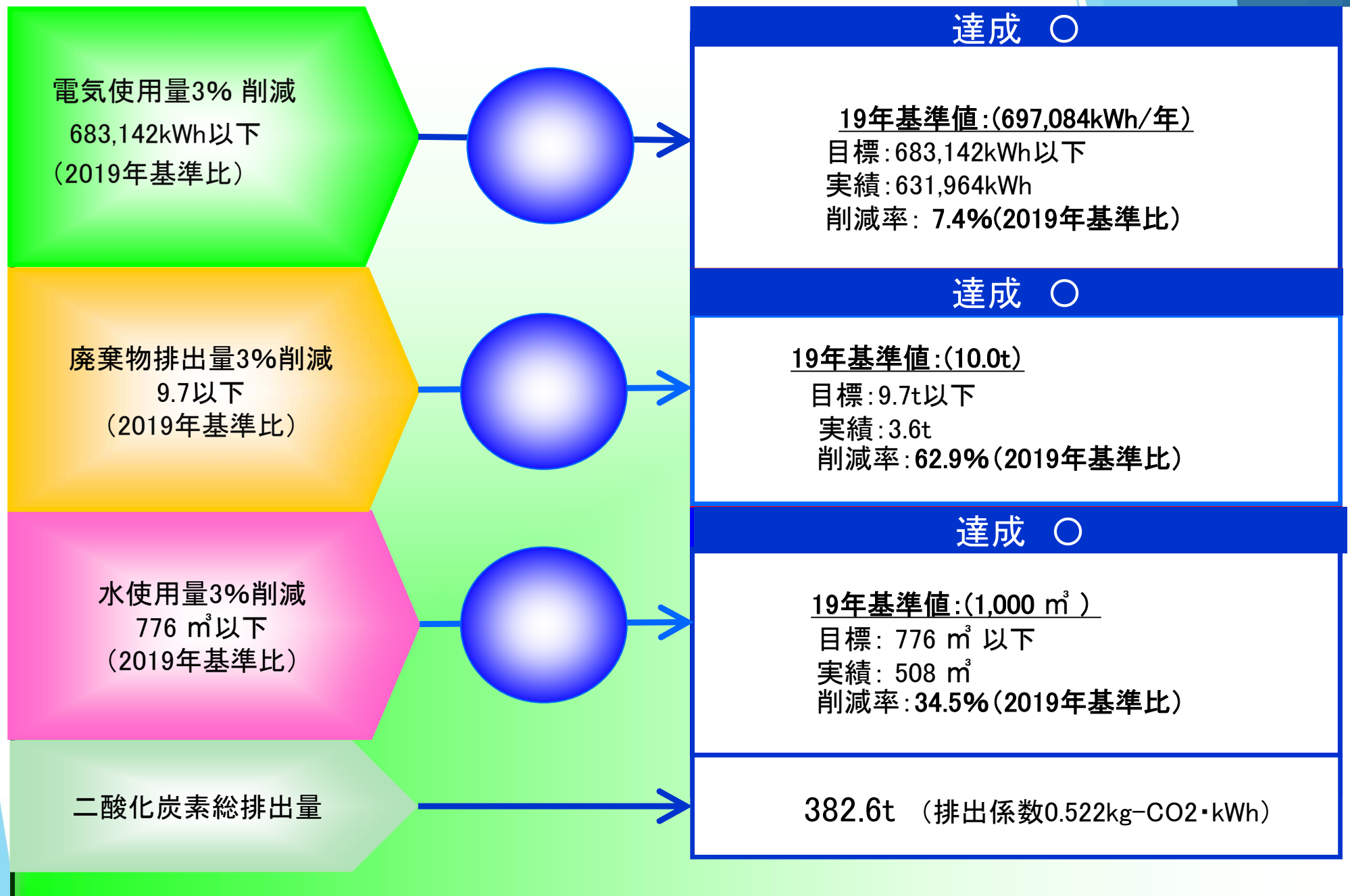


## 7-3.環境目標とその実績(山形工場)



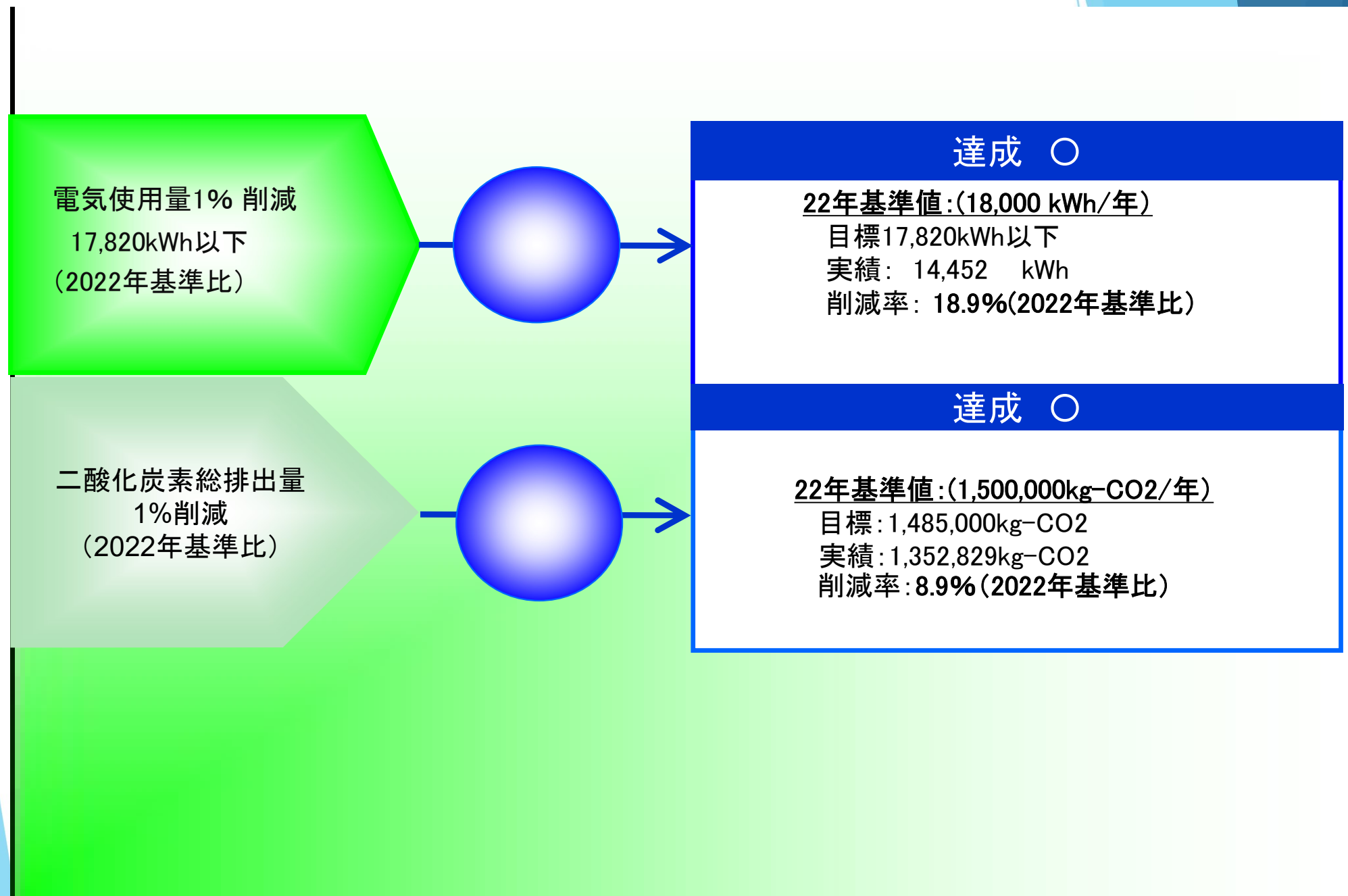


## 7-4.環境目標とその実績(山形第二工場)





## 7-5.環境目標とその実績(本社)





## 8-1.環境活動の取り組み結果と評価(東京工場)

評価基準：

- ◎：120%以上達成率
- ：概ね100%以上達成率
- △：75%～100%未満の達成率
- ×：75%未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
電気使用量4%削減 262,889kWh以下 (2020年基準比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理 生産効率	評価：× ステンレス製品の移管計画中止による真空炉稼働増。	・ステンレス生産移管（中国）の対応にて生産品完全移管による業態変化を中心に行う。
廃棄物排出量3%削減 15.41t以下 (2022年基準比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価：× 購入品販売量増加による副資材廃棄量増加。 2023年2月の焼結炉廃棄による産業廃棄物増加。	・包装資材・包装方法見直しによる廃棄物削減 ・購入品資材の再利用化 ・エコ商品の購入
水使用量5%削減 513 m <sup>3</sup> 以下 (2017年基準比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価：◎ 生産量減少と節水。	・継続的な監視（節水・漏水）
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価：◎ エコ製品の調査と促進による	・エコマークの周知 ・継続的なグリーン購入品調査
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価：△ 2車種中1車種達成	・エコドライブ教育 ・エコドライブ監視



## 8-2.環境活動の取り組み結果と評価(秋田工場)

評価基準：

- ◎：120%以上達成率
- ：概ね100%以上達成率
- △：75%～100%未満の達成率
- ×：75%未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
生産電気使用量6%削減 4,416kWh以下/百万円 (売上比) 電気使用量6%削減 (2017年基準比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理 生産効率	評価：◎ 2023年度目標達成 週末のコンプレッサー停止など工場の稼働が低い状態時の工夫。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産効率化による電気使用量の削減</li> <li>・デマンド監視装置にてピーク電力の制御</li> <li>・再生エネルギーなどの検討</li> </ul>
廃棄物排出量3%削減 19.4kg/百万円 (売上比) (2019年基準比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価：○ 再利用と分別による。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場間での削減改善案の共有</li> <li>・毎年5月に排出される油水分離槽の汚泥により活動効果が見えにくいため、目標管理から除き活動効果を監視</li> </ul>
水使用量4%削減 2.30m <sup>3</sup> /百万円 (2018年基準比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価：○ 節水呼びかけと監視にて達成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水改善案</li> <li>・漏水監視</li> <li>・漏水防止対策</li> </ul>
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価：◎ エコ製品の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコマークの周知</li> <li>・継続的なグリーン購入品調査</li> </ul>
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価：△ 2車種中1車種達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブ教育</li> <li>・エコドライブ監視</li> <li>・セレナ目標値見直し</li> </ul>



### 8-3.環境活動の取り組み結果と評価(山形工場)

評価基準：

- ◎：120%以上達成率
- ：概ね100%以上達成率
- △：75%～100%未満の達成率
- ×：75%未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
電気使用量 3% 削減 362,503kWh以下 (2019年基準比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理	評価：○ コロナによる売り上げ減少及び 一部生産移管による。	・生産効率化のために第一工場 生産製品を第二工場へ移管 予定
廃棄物排出量3%削減 9.7t以下 (2019年基準比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価：◎ 山形第二工場と同様の目標設定と したため。	・分別回収の徹底 ・紙使用量削減 ・生産効率化のために第一工場 生産製品を第二工場へ移管 予定
水使用量3%削減 970 m <sup>3</sup> 以下 (2019年基準比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価：◎ 漏水管理・生産稼働低下による。	・節水改善案 ・漏水監視
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価：◎ エコ製品の調査と推進による。	・エコマークの周知 ・継続的なグリーン購入品調査
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価：× エキスパート目標未達 車種も古く燃費が悪い。	・エコドライブ教育 ・エコドライブ監視 ・エコカー購入検討



## 8-4.環境活動の取り組み結果と評価(山形第二工場)

評価基準：

- ◎：120%以上達成率
- ：概ね100%以上達成率
- △：75%～100%未満の達成率
- ×：75%未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
電気使用量3%削減 683,142kWh以下 (2019年基準比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理 生産効率	評価：○ 生産切替が進み以前より効率的ものづくりが出来ているため	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産効率化による電気使用量の削減</li> <li>・生産効率化のために第一工場生産製品を第二工場へ移管予定</li> </ul>
廃棄物排出量3%削減 9.7t以下 (2019年基準比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価：◎ 前々年度の実績から目標設定をしたが、期間が短くまた、廃棄物が集中している時期が選定されたため。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別回収の徹底</li> <li>・紙使用量削減</li> </ul>
水使用量3%削減 776 m <sup>3</sup> 以下 (2019年基準比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価：◎ 漏水管理・生産稼働低下による	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水改善案</li> <li>・漏水監視</li> </ul>
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価：◎ エコ製品の調査と推進による。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコマークの周知</li> <li>・継続的なグリーン購入品調査</li> </ul>
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価：× エキスパート目標未達 車種も古く燃費が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブ教育</li> <li>22 エコドライブ監視</li> <li>・エコカー購入検討</li> </ul>

## 8-5.環境活動の取り組み結果と評価(本社)

評価基準：

- ◎：120%以上達成率
- ：概ね100%以上達成率
- △：75%～100%未満の達成率
- ×：75%未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
電気使用量1% 削減 17,820kWh以下 (2022年基準比)	取組事項の説明(教育) 省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理 運転停止時の電源OFF	評価：◎ 節電や空調温度管理実施の成果。	・残業時間低減による電気使用量削減。
CO2排出量削減(全社) 1,485,000kg-CO2 (2022年基準比)	取組状況の全体監視 (対象：工場)	評価：◎ 各工場の活動成果による。	・CO2削減のための予算確保 ・CO2削減のための提案と推進
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価：× 本社就業人数減少による購入品総量減少。	・エコマークの周知 ・継続的なグリーン購入品調査
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価：○ プリウスPHVの充電及びエコ運転	・エコドライブ教育 ・エコドライブ監視 ・エコカー購入検討



## 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (東京工場)

区分	法規制等名称	対象施設等	条項	遵守チェック
大気関係	大気汚染防止法	加湿用蒸気発生器用2台	ボイラー則10条	提出済み
	フロン排出抑制法	業務用エアコン(7.5kW以上)	H26環告示13号別表2	○
		業務用エアコン、冷水器等(7.5kW未満)		○
		業務用エアコン、冷水器等の廃棄	法43条	○
水関係	水道法	上水利用	法23条	提出済み
	町田市下水道条例	下水道への排水	条例12条	○
		雨水	例14条	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	産業廃棄物(汚泥・廃プラ・金属くず)	法12条2項	○
			法12条4項	○
			法12条7項	○
			法12条の3⑥	○
			法12条の3⑦	○
	町田市廃棄物の減量化及び資源化並びに適正処理に関する条例	一般廃棄物(可燃、不燃)	条例26条	○
	家電リサイクル法	冷蔵庫、テレビ	法6条	○
	小型家電リサイクル法	掃除機、電話機等	法6条	○
	自動車リサイクル法	公用車(乗用2台)	法8条	○
騒音・振動	騒音規制法	加圧能力 294kN以上(30t) プレス	法6条	提出済み
	振動規制法	原動機の定格出力 7.5kW	法4条	○
毒劇	毒物及び劇物取り締まり法	アンモニア:劇物(アンモニアタンク)	法22条	○
				○
火災予防	消防法	防火対象での点検・設備維持等	法8条	○
		消火設備、避難路、物品の消火性能	法8条の3	○
		消防訓練の実施	法8条	○
		油倉庫	法9条	○
車両運転	道路運送車両法	公用車(乗用4台)	法47条の2	○
	道路交通法	運転者	法64-74条	○
化学物質	RoHS指令	原材料・副資材		○
	ELV指令	原材料・副資材		○
	REACH規則	原材料・副資材		○
	顧客要求グリーン調達基準	原材料・副資材		○

当社における過去5年間の法規違反又は起訴などは一切ございませんでした。



## 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (秋田工場)

区分	法規制等名称	対象施設等	条項	遵守チェック
大気関係	大気汚染防止法	加湿用蒸気発生器用2台	ボイラー則10条	提出済み
		業務用エアコン、冷水器等(7.5kW未満) 18台	H26環告示13号別表1	○
		業務用エアコン、冷水器等の廃棄	法43条	○
水関係	水道法	上水利用	法23条	提出済み
	横手市市下水道条例	下水道への排水	条例12条	○
		雨水油水分離槽	例14条	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	産業廃棄物(汚泥・廃プラ・金属くず)	法12条2項	○
			法12条4項	○
			法12条7項	○
			法12条の3⑥	○
			法12条の3⑦	○
横手市廃棄物の減量化及び資源化並びに適正処理に関する条例	一般廃棄物(可燃、不燃)	条例26条	○	
	家電リサイクル法	冷蔵庫、テレビ	法6条	○
	小型家電リサイクル法	掃除機、電話機等	法6条	○
	自動車リサイクル法	公用車(乗用2台)	法8条	○
騒音・振動	騒音規制法	加圧能力 294kN以上(30t) プレス	法6条	提出済み
	振動規制法	原動機の定格出力 7.5kW	法4条	○
火災予防	消防法	防火対象での点検・設備維持等	法8条	○
		消火設備、避難路、物品の消火性能	法8条の3	○
		消防訓練計画策定・実施	法8条	○
		油管理	法9条	○
車両運転	道路運送車両法	公用車(乗用2台)	法47条の2	○
	道路交通安全法	運転者	法64-74条	○
化学物質 ※	RoHS指令	原材料・副資材		
	ELV指令	原材料・副資材		
	REACH規則	原材料・副資材		
	顧客要求グリーン調達基準	原材料・副資材		
※化学物質管理は、東京工場にて一元管理			25	

当社における過去5年間の法規違反又は起訴などは一切ございませんでした。





## 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (山形工場)

区分	法規制等名称	対象施設等	条項	遵守チェック
大気関係	大気汚染防止法	業務用エアコン、冷水器等(7.5kW未満) 4台	H26環告示13号別表1	○
		業務用エアコン、冷水器等の廃棄	法43条	○
水関係	水道法	上水利用	法23条	—
	水質汚濁防止法	河川への排水	12条	○
	浄化槽法	浄化槽	8・9・11条	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	産業廃棄物(汚泥・廃プラ・金属くず)	法12条2項	○
			法12条4項	○
			法12条7項	○
	遊佐町廃棄物の減量化及び資源化並びに適正処理に関する条例	一般廃棄物(可燃、不燃)	条例26条	○
	家電リサイクル法	冷蔵庫、テレビ	法6条	○
	小型家電リサイクル法	掃除機、電話機等	法6条	○
	自動車リサイクル法	公用車(乗用2台)	法8条	○
騒音・振動	騒音規制法 振動規制法	加圧能力 294kN以上(30t)以上 原動機の定格出力 7.5kW	法6条	—
			法4条	○
火災予防	消防法	防火対象での点検・設備維持等	法8条	○
		消火設備、避難路、物品の消火性能	法8条の3	○
		消防訓練の実施	法8条	○
		油倉庫	法9条	○
車両運転	道路運送車両法	公用車(乗用2台)	法47条の2	○
	道路交通法	運転者26名	法64-74条	○
化学物質	RoHS指令	原材料・副資材		
	ELV指令	原材料・副資材		
	REACH規則	原材料・副資材		
	顧客要求グリーン調達基準	原材料・副資材		
※化学物質管理は、東京工場にて一元管理				

当社における過去5年間の法規違反又は起訴などは一切ございませんでした。<sup>26</sup>





## 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (山形第二工場)

区分	法規制等名称	対象施設等	条項	遵守チェック
大気関係	フロン排出抑制法	業務用エアコン(7.5kW以上)	H26環告示13号別表2	
		業務用エアコン、冷水器等(7.5kW未満)	H26環告示13号別表1	○
		業務用エアコン、冷水器等の廃棄	法43条	○
水関係	水道法	上水利用	法23条	2018年12月
	水質汚濁防止法	河川への排水	12条	○
	浄化槽法	浄化槽	8・9・11条	○
	水質汚濁防止法	油水分離層	水質汚濁防止法14条	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	産業廃棄物(汚泥・廃プラ・金属くず)	法12条2項	○
			法12条4項	○
			法12条7項	○
			法12条の3⑥	○
	法12条の3⑦	○		
遊佐町廃棄物の減量化及び資源化並びに適正処理に関する条例	一般廃棄物(可燃、不燃)	条例26条	○	
家電リサイクル法	冷蔵庫、テレビ	法6条	○	
小型家電リサイクル法	掃除機、電話機等	法6条	○	
自動車リサイクル法	公用車(乗用2台)	法8条	○	
騒音・振動	騒音規制法 振動規制法	加圧能力294kN以上(30t以上)	法6条	2018年12月
		原動機の定格出力 7.5kW	法4条	○
火災予防	消防法	防火対象での点検・設備維持等	法8条	○
		消火設備、避難路、物品の消火性能	法8条の3	○
		消防訓練の実施	法8条	○
		油倉庫	法9条	○
車両運転	道路運送車両法	公用車(乗用2台)	法47条の2	○
	道路交通法	運転者18名	法64-74条	○
化学物質	RoHS指令	原材料・副資材		
	ELV指令	原材料・副資材		
	REACH規則	原材料・副資材		
	顧客要求グリーン調達基準	原材料・副資材		
※化学物質管理は、東京工場にて一元管理				

当社における過去5年間の法規違反又は起訴などは一切ございませんでした。



## 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (本社)

区分	法規制等名称	対象施設等	条項	遵守チェック
大気関係	フロン排出抑制法	業務用エアコン(7.5kW以上)	H26環告示13号別表2	○
		業務用エアコン、冷水器等(7.5kW未満)		○
		業務用エアコン、冷水器等の廃棄	法43条	○
水関係	水道法	上水利用	法23条	提出済み
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	産業廃棄物(汚泥・廃プラ・金属くず)	法12条2項	○
			法12条4項	○
			法12条7項	○
			法12条の3⑥	○
	世田谷区廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物(可燃、不燃)	第3条	○
	家電リサイクル法	冷蔵庫、テレビ	法6条	○
	小型家電リサイクル法	掃除機、電話機等	法6条	○
自動車リサイクル法	公用車(乗用2台)	法8条	○	
火災予防	消防法	防火対象での点検・設備維持等	法8条	○
		消火設備、避難路、物品の消火性能	法8条の3	○
		消防訓練の実施	法8条	○
車両運転	道路運送車両法	公用車(乗用2台)	法47条の2	○
	道路交通法	運転者	法64-74条	○

当社における過去5年間の法規違反又は起訴などは一切ございませんでした。

# 10-1 代表者による全体の評価と見直しの記録(東京工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 羽田 鋭治

開催日：2023年12月13日10時10分～12時00分 出席者：WEB会議 羽田社長・高木主任、服田主任・柿崎工場長・菊地工場長 記録：山根裕也

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員の意識向上による提案改善</li> <li>・省エネ設備導入の推進</li> <li>・環境活動の見える化（掲示板やデマンド管理）</li> </ul>	<p>グローバル企業や中小企業が脱炭素への対応有無によって選択される可能性が高まりつつあります。この脱炭素化の流れを上手く捉えれば競争力を生み出す機会に変わる可能性があります。再生エネルギーなどを積極的に導入し選択される会社にしていきましょう。</p>
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>省エネルギー ×</p> <p>水使用削減 ×</p> <p>廃棄物の削減 ◎</p> <p>グリーン購入 ◎</p> <p>化石燃料削減 △</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>環境担当者が各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>電気量削減としてステンレス製品は、中国へ移管を進めていくことで進めてください。</p> <p>産業廃棄物削減は、購入品（中国）の品質トラブルによるムダを生産元（中国）にて発生対策をおこなってください。</p>
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。</li> </ul>

## 社長コメント

前年度同様東京工場は、製造から販売へと業務変化がありますので変化時は、環境に十分配慮して事業活動を進めてください。又、仕入れ先にも環境活動の協力をお願いしてください。購入品（中国）の品質トラブルによるムダが発生していることが見受けられます。品質トラブル発生による対応により環境負荷が拡大することもありますので対応をお願いします。

## 提案

不良発生対策として生産元の発生対策と流失防止  
ネット環境を利用し中国の品質管理ラインの見える化導入など

## 10-2 代表者による全体の評価と見直しの記録(秋田工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 羽田 鋭治

開催日：2023年12月13日10時10分～12時00分 出席者：WEB会議 羽田社長、高木主任、服田主任・柿崎工場長・菊地工場長 記録：山根裕也

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全社員の意識向上による提案改善</li><li>・省エネ設備導入の推進</li><li>・環境活動の見える化（掲示板やデマンド管理）</li></ul>	<p>グローバル企業や中小企業が脱炭素への対応有無によって選択される可能性が高まりつつあります。この脱炭素化の流れを上手く捉えれば競争力を生み出す機会に変わる可能性があります。再生エネルギーなどを積極的に導入し選択される会社にしていきましょう。</p>
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>省エネルギー ◎ 水使用削減 ○ 廃棄物の削減 ○ グリーン購入 ◎ 化石燃料削減 △</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>環境管理責任者の報告にもあるように節電対応など経営改善と環境改善がうまく運用できその結果目標達成ができています。</p>
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。</li></ul>

社長の総合コメント：

環境管理責任者の報告にもあるように節電対応など経営改善と環境改善がうまく運用できその点が評価できる。  
他工場が実施する再生エネルギー導入など環境面でも選ばれる工場として活動を計画してください。

# 10-3 代表者による全体の評価と見直しの記録(山形工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 羽田 鋭治

開催日：2023年12月13日10時10分～12時00分 出席者：WEB会議 羽田社長、高木主任、服田主任・柿崎工場長・菊地工場長 記録：山根裕也

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示										
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全社員の意識向上による提案改善</li><li>・省エネ設備導入の推進</li><li>・環境活動の見える化（掲示板やデマンド管理）</li></ul>	<p>グローバル企業や中小企業が脱炭素への対応有無によって選択される可能性が高まりつつあります。この脱炭素化の流れを上手く捉えれば競争力を生み出す機会に変わる可能性があります。再生エネルギーなどを積極的に導入し選択される会社にしていきましょう。</p>										
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <table><tr><td>省エネルギー</td><td>○</td></tr><tr><td>水使用削減</td><td>◎</td></tr><tr><td>廃棄物の削減</td><td>◎</td></tr><tr><td>グリーン購入</td><td>◎</td></tr><tr><td>化石燃料削減</td><td>×</td></tr></table>	省エネルギー	○	水使用削減	◎	廃棄物の削減	◎	グリーン購入	◎	化石燃料削減	×	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>概ね目標達成。 コロナによる売上減少と製品移管による結果のため活動の効果を判定することが難しい。 生産移管を出来るだけ早く行い、工場を統一することでムダが削減すること。</p>
省エネルギー	○											
水使用削減	◎											
廃棄物の削減	◎											
グリーン購入	◎											
化石燃料削減	×											
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。</li></ul>										

社長の総合コメント：

目標達成はしておりますが、経営改善と環境改善がうまく運用できていないと判断します。経営が改善されることで環境改善も同様の効果が生まれます。

経営＝環境の概念で改善を進めてください。

# 10-4 代表者による全体の評価と見直しの記録(山形第二工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 羽田 鋭治

開催日：2023年12月13日10時10分～12時00分 出席者：WEB会議 羽田社長、高木主任、服田主任・柿崎工場長・菊地工場長 記録：山根裕也

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全社員の意識向上による提案改善</li><li>・省エネ設備導入の推進</li><li>・環境活動の見える化（掲示板やデマンド管理）</li></ul>	<p>グローバル企業や中小企業が脱炭素への対応有無によって選択される可能性が高まりつつあります。この脱炭素化の流れを上手く捉えれば競争力を生み出す機会に変わる可能性があります。再生エネルギーなどを積極的に導入し選択される会社にしていきましょう。</p>
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>省エネルギー ○ 水使用削減 ◎ 廃棄物の削減 ◎ グリーン購入 ◎ 化石燃料削減 ×</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>概ね目標達成。 コロナによる売上減少と製品移管による結果のため活動の効果を判定することが難しい。 生産移管を出来るだけ早く行い、工場を統一することでムダが削減すること。</p>
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。</li></ul>

社長の総合コメント：

目標達成はしておりますが、経営改善と環境改善がうまく運用できていないと判断します。経営が改善されることで環境改善も同様の効果が生まれます。

経営＝環境の概念で改善を進めてください。



# 10-5 代表者による全体の評価と見直しの記録(本社)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 羽田 鋭治

開催日：2023年12月13日10時10分～12時00分 出席者：WEB会議 羽田社長、高木主任、服田主任・柿崎工場長・菊地工場長 記録：山根裕也

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全社員の意識向上による提案改善</li><li>・省エネ設備導入の推進</li><li>・環境活動の見える化（掲示板やデマンド管理）</li></ul>	<p>グローバル企業や中小企業が脱炭素への対応有無によって選択される可能性が高まりつつあります。この脱炭素化の流れを上手く捉えれば競争力を生み出す機会に変わる可能性があります。再生エネルギーなどを積極的に導入し選択される会社にしていきましょう。</p>
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>省エネルギー ◎ CO2排出量削減（全社）◎ グリーン購入 × 化石燃料削減 ○</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>グリーン購入以外目標達成。 未達要因は、営業部移動により根本的な購入品量が減少したため。</p>
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。</li></ul>

社長の総合コメント：

本社は本年度EA21認証することができました。本社の役割は、本社のみならず各工場のCO2使用量の管理及び環境計画の推進の役目を考えております。環境の融資や投資・補助金・環境情報を入手し工場へ積極的な展開をお願いします。2025年度 樹脂事業部福島工場EA21の取得を検討します。2024年度に活動を開始し準備ができ次第拡大審査を検討します。